

## 新技術が実現する図書受入・目録業務システム

総合目録データベース実務研修  
仕様書作成演習 - B 班

### 業務の現状・問題点

#### 重複・ブツ切りの業務

分業体制の組織（受入係、目録係...）  
異なるアプリケーションによる作業  
学内システム（経理）との分断

#### 多くの処理パターン

- (1) 選書 - 発注 - 受入 - 目録
- (2) 受入 - 目録
- (3) 目録 - 受入

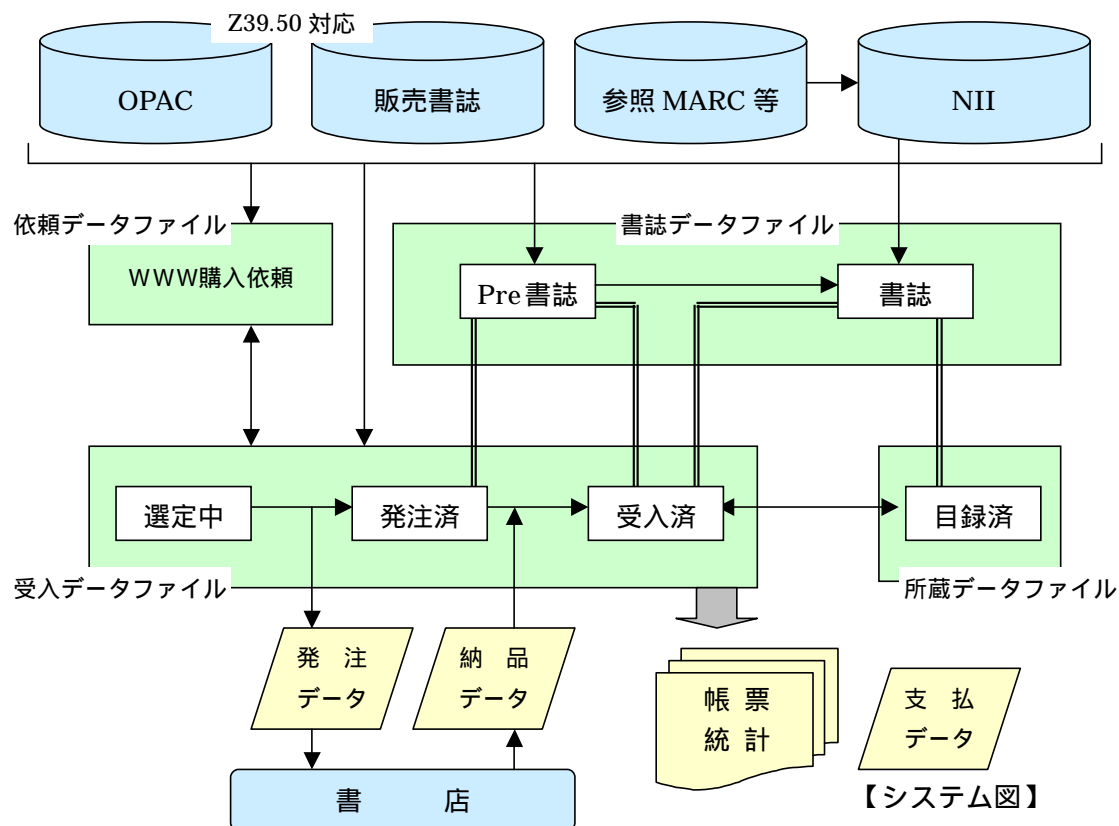
### 目標と機能

どこからでもスタートできる  
データはとことん使う  
同じことは1回で済ませる

業務間のシームレスなデータ連携  
外部システム・データとの連携（CSV、XML）  
複数データベースの統合検索（Z39.50）

### システムの特徴

- (1) 書誌データの統合検索  
販売書誌検索  
新刊、在庫状況
- (2) 各処理段階でのデータ連携  
購入申込（WWW）  
選定・重複調査  
発注  
受入・支払  
目録
- (3) 外部システム・データとの連携  
書店  
経理



仕様書（案）（抜粋）

- ・受入データの作成時に NII の各種データベース、ローカル目録データベース、および販売目録データベースの書誌データを取り込む機能。
- ・外部作成のデータを取り込み、各処理段階のレコードを一括作成する機能。
- ・必要なデータを容易に抽出・出力できる機能。
- ・受入段階のレコード中の ISBN をもとに、CAT-P AUTO による目録登録機能。
- ・支払データを学内経理システムに受渡可能なフォーマットで出力する機能。

etc.....